

『中部圏広域地方計画』と『中部ブロックにおける社会資本整備重点計画』の構成

中部圏広域地方計画

中部ブロックの社会資本整備重点計画

第1章 我が国と中部圏を取り巻く情勢

第2節 中部圏を取り巻く情勢

1. 中部圏の地域特性・強み
 - (1) 地勢・自然的特性
 - (2) 歴史・文化的特性
 - (3) 多極分散型で重層的な地域構造
 - (3) ものづくりに秀でた産業特性
 - (4) ゆとりある生活環境

2. 中部圏の状況・課題

- (1) 人口動向
- (2) 産業とインフラ
- (3) 災害
- (4) 環境、エネルギー、土地
- (5) 地域社会と生活

第1章 中部ブロックの現状と主要課題

1. 中部ブロックの特徴

- (1) ものづくりに秀でた産業特性と支える交通ネットワークの発展
- (2) 地形地質・治水特性
- (3) 自然・歴史文化など多種多様な地域資源

2. 中部ブロックにおける近年の状況変化

- (1) 「陸・海・空」高速交通ネットワーク整備の進展
- (2) 2027年リニア中央新幹線東京・名古屋間開業に向けた工事着工
- (3) 増加、多様化する国内外の観光需要、昇龍道プロジェクトの進展
- (4) 加速する社会資本の老朽化
- (5) 巨大地震や頻発・激甚化する自然災害への備え、国土保全など
- (6) 人口減少・高齢化社会の進展に適応した地域づくり
- (7) 環境との共生

第2章 中部圏の目指すべき将来像

- (1) 世界最強・最先端のものづくり産業・技術のグローバル・ハブ
- (2) リニア効果を最大化し都市と地方の対流促進、ひとり一人が輝く中部
- (3) 南海トラフ地震などの災害に強くしなやか、環境と共生した国土

第2章 1. 中部ブロックの目指すべき将来の姿と基本戦略

【全国社重の基本的考え方】

- 社会資本のストック効果の最大化
- ストック効果の底流としての安全・安心の確保と生活の質の向上
- 経済再生と財政健全化の双方に資する社会資本整備への重点化
- 戦略的メンテナンスと賢く使う取り組みへの重点

第3章 基本方針

- 【方針1】世界最強・最先端のものづくりの進化
- 【方針2】スーパーメガリージョンのセンター
我が国の成長を牽引
- 【方針3】地域の個性と対流による地方創生
- 【方針4】安全・安心で環境と共生した中部圏形成
- 【方針5】人材育成と共助社会の形成

第3章 重点目標

- 【重点目標1】ものづくりなどの産業立地環境の改善とリニア効果の最大化
 - 1-1 ものづくり中枢圏・中部強化プロジェクト
 - 1-2 リニア効果最大化プロジェクト
 - 1-3 新たな中部観光交流圏形成プロジェクト
- 【重点目標2】社会資本の戦略的な維持管理・更新
 - 2-1 戦略的なメンテナンスサイクルの構築プロジェクト
 - 2-2 メンテナンス産業強化プロジェクト
- 【重点目標3】災害特性と地域の脆弱性に応じた災害リスクの低減
 - 3-1 南海トラフ地震に備えた国土強靱化プロジェクト
 - 3-2 スーパー伊勢湾台風等大規模自然災害対策プロジェクト
 - 3-3 適切な国土保全強化プロジェクト
- 【重点目標4】地域の個性を活かし対流を促進する持続可能な社会の形成
 - 4-1 地方創生地域支援プロジェクト
 - 4-2 中部の魅力をもつ快適安心生活環境プロジェクト
 - 4-3 環境共生、美しい豊かな国土づくりプロジェクト

第4章 プロジェクト

別添

■ 広域(第3章 [基本方針]・第4章 [プロジェクト])と社重(第3章 [重点目標・プロジェクト])の関連性

別添

中部圏広域地方計画

[第3章 基本方針に係る具体的方策]

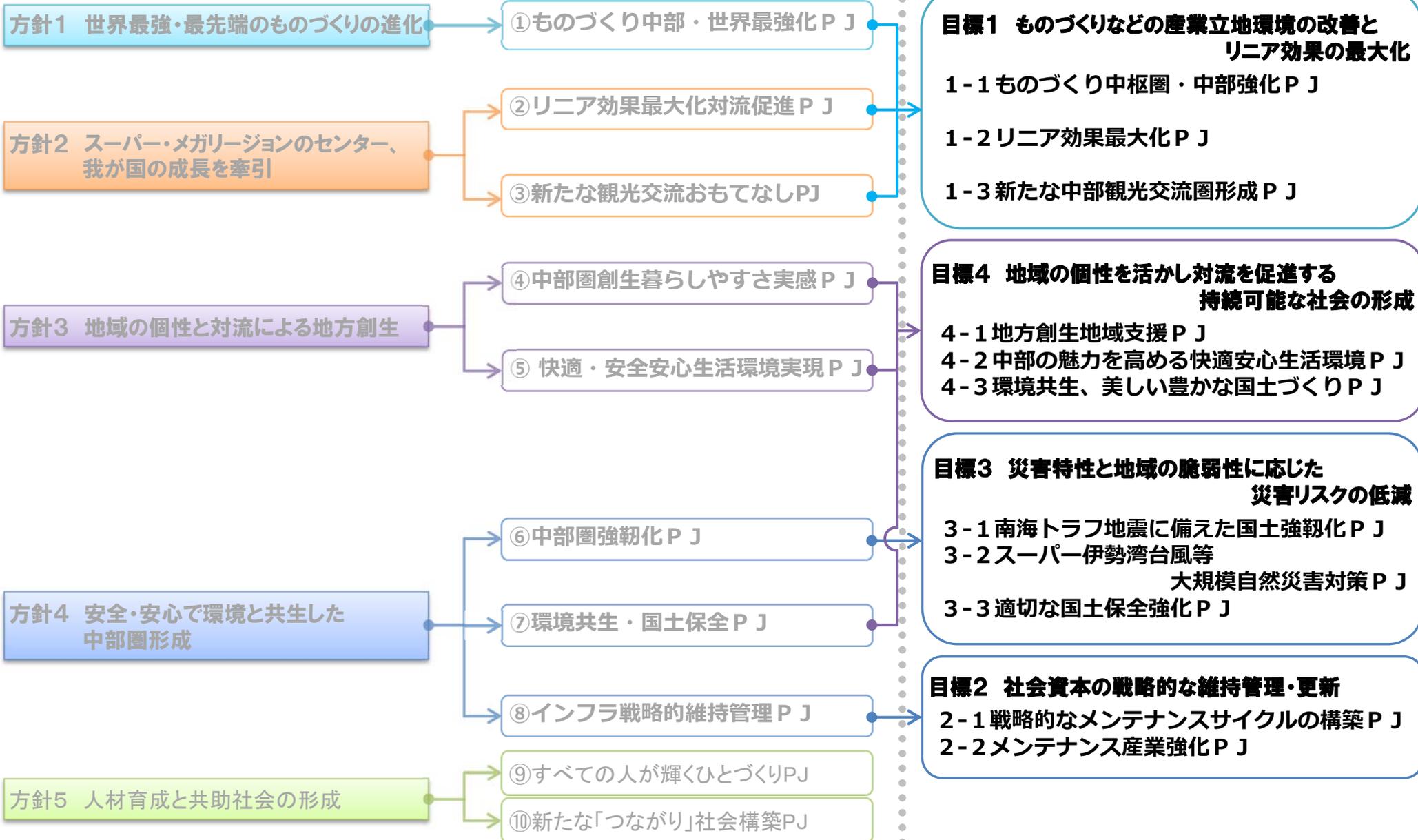
[第4章 新たな中部圏の実現に向けた戦略]

[中部圏リーディングプロジェクト]

中部ブロックにおける社会資本整備重点計画

[第3章 中部ブロックにおける社会資本整備の重点目標]

[重点目標とプロジェクト]



『中部ブロックにおける社会資本整備重点計画』目次(案)

第1章 中部ブロックの現状と主要課題

1. 中部ブロックの特徴

- (1)ものづくりに秀でた産業特性と支える交通ネットワークの発展
- (2)地形地質・治水特性
- (3)自然・歴史文化など多種多様な地域資源

2. 中部ブロックにおける近年の状況変化

- (1)「陸・海・空」高速交通ネットワーク整備の進展
- (2)2027年リニア中央新幹線東京・名古屋間開業に向けた工事本格着工
- (3)増加、多様化する国内外の観光需要、昇龍道プロジェクトの進展
- (4)加速する社会資本の老朽化
- (5)巨大地震や頻発・激甚化する自然災害への備え、国土保全など
- (6)人口減少・高齢化社会の進展に適応した地域づくり
- (7)環境との共生

第2章 中部ブロックの目指すべき将来の姿と社会資本整備の基本戦略

1. 中部ブロックの将来像

- (1)世界最強・最先端のものづくり産業・技術のグローバル・ハブ
- (2)リニア効果を最大化し都市と地方の対流促進、ひとり一人が輝く中部
- (3)南海トラフ地震などの災害に強くしなやか、環境と共生した国土

2. 中部ブロックの社会資本整備の基本戦略

- (1)ものづくり中核圏としての更なる成長を支える国土基盤の強化
- (2)戦略的なインフラメンテナンスの推進
- (3)南海トラフ地震や頻発・激甚化する自然災害などに備えた安全・安心の確保
- (4)住みやすい地域の形成と自然との共生

第3章 中部ブロックにおける社会資本整備の重点目標

重点目標1 ものづくりなどの産業立地環境の改善とリニア効果の最大化

- 1-1ものづくり中核圏・中部強化プロジェクト
- 1-2リニア効果最大化プロジェクト
- 1-3新たな中部観光交流圏形成プロジェクト

重点目標2 社会資本の戦略的な維持管理・更新

- 2-1戦略的なメンテナンスサイクルの構築プロジェクト
- 2-2メンテナンス産業強化プロジェクト

重点目標3 災害特性と地域の脆弱性に応じた災害リスクの低減

- 3-1南海トラフ地震に備えた国土強靱化プロジェクト
- 3-2スーパー伊勢湾台風等大規模自然災害対策プロジェクト
- 3-3適切な国土保全強化プロジェクト

重点目標4 地域の個性を活かし対流を促進する持続可能な社会の形成

- 4-1地方創生地域支援プロジェクト
- 4-2中部の魅力を高める快適安心生活環境プロジェクト
- 4-3環境共生、美しい豊かな国土づくりプロジェクト

第4章 計画を推進するための方策

- (1)関係機関等との連携強化
- (2)社会資本整備への多様な主体の参画と透明性・公平性の確保
- (3)社会資本整備に関する情報基盤の強化
- (4)効果的・効率的な社会資本整備のための技術開発の推進

中部ブロックとは、長野、岐阜、静岡、愛知、三重の5県を中部ブロックとしている。

第1章 中部ブロックの現状と主要課題

1. 中部ブロックの特徴

・自然・地理・社会・産業・くらし・文化、社会資本の特徴、社会資本整備の歴史を記載

2. 中部ブロックにおける近年の状況変化

・各種データの収集分析結果による地方ブロックの構造的な特徴や状況変化を記述
 ・広域地方計画との整合性にも留意
 ・広域地方計画や社会資本整備重点計画(第1章1)で示される「構造的課題」を踏まえ、大きな主要課題についてのみ記載

第2章 中部ブロックの目指すべき将来の姿と社会資本整備の基本戦略

1. 中部ブロックの将来像

・社会経済等の将来像(中長期的な姿)について、広域地方計画等を踏まえ記載

2. 中部ブロックの社会資本整備の基本戦略

・本節では、中長期的な社会資本整備の道筋について記載
 ・社重点第1章2で記載される、特に戦略的インフラマネジメントや、以下の概念に関して、地域特性を踏まえつつ、中長期的な戦略・取組等を記載。
 (社会資本のストック効果最大化/集約・再編を含めた既存施設の戦略的メンテナンス / 既存施設の有効活用/社会資本の目的・役割に応じた選択と集中の徹底/安全安心インフラ/生活インフラ/成長インフラ)
 ・財政再建と経済成長に貢献できる戦略であることに留意
 ・計画期間について記載

第3章 中部ブロックにおける社会資本整備の重点目標

・中部ブロックの重点目標とプロジェクト

・社重点第2章の重点目標を踏まえ、メンテナンスを含む4～6の地方の重点目標を設定
 ・重点目標ごとに重点目標を実現するプロジェクトを記載(多くなりすぎないように留意)
 ・プロジェクト毎に、「(個別)課題と目指す姿」「重点施策」「指標」「主要取組」をまとめ、一連のストーリーとしてわかりやすく整理(イメージ参考)
 ・特に重要な指標はKPIとして示し、進捗を管理
 ・事業の結果、発現が期待されるストック効果が見える化(これまでの事業の実施→顕在化するストック効果→今後事業の実施→直接的効果→波及効果を定量的又は定性的に記載。事業は分野間・実施主体間の横串性を考慮)
 ・主要取組は、既存施設の有効活用等のソフト施策や集約・再編、検討を進める取組も記載するとともに、個別事業については、選択と集中の考え方のもと、「平成30年度までに完了する事業」「平成32年度までに完了する事業」「平成30年代完了予定」「完了時期未定」検討を進める事業の5段階で示し、さらに「測量設計中」「用地買収中」といった事業の段階を明示。

(第3章イメージ)

重点目標1：社会資本の戦略的な維持管理・更新を行う
 プロジェクト：徹底的なメンテナンスの実施

課題と目指す姿

・〇〇圏域では、過去の〇〇時代に作られたインフラが・・・となっている。
 ・今後、社会資本ストックの機能を維持し、安全・安心の確保に貢献

重点施策

・社会資本ストックについて、メンテナンスサイクルの確立を目指す

重点施策の達成状況を測定するための代表的な指標(KPI)

○ [1] 個別施設ごとの長寿命化計画(個別施設計画)の策定率

【〇〇：平成26年度 ●% → 平成32年度 100%】

主要取組

【既存施設の有効活用やソフト施策の推進】

・〇〇における長寿命化計画の策定

【選択と集中の徹底】

(計画期間内に完成予定)

<平成30年度までに事業が完了予定>

・〇〇の長寿命化対策(〇〇橋、〇〇樋門) (H27工事中) (平成〇〇年完了)

<平成32年度までに事業が完了予定>

・〇〇の長寿命化対策(〇〇橋、〇〇樋門) (H27工事中) (平成〇〇年完了)

(中長期的に事業を推進)

<平成30年代完了予定>

・〇〇年に行う定期点検を踏まえた補修・修繕(H27用地買収中) (〇〇県〇〇市、〇〇町)

<完了時期未定>

・〇〇施設の更新(H27測量・設計中) (〇〇県〇〇市)

【既存施設の集約・再編】

・更新にあわせた〇〇施設の集約・再編(〇〇市)

・老朽化が著しい施設の撤去(代替機能を有する周辺施設の活用) (〇〇市)

重点施策	指標
(定期的な点検管理の実施)	
・メンテナンスサイクルの第一段階として、点検が確実に実施されていることを把握・見える化	定期点検実施率 ・各分野で計画期間中100%の実施を目指す。(〇〇、〇〇、)
期待されるストック効果	
・〇〇施設の老朽化対策の実施により、〇〇に〇〇が開設。〇〇の観光客が〇〇人増。 ・〇〇施設では、これまでも〇〇を発揮していたが、〇〇の長寿命化により、その効果が安定的・持続的に発現(事業の横串性を考慮し、定性的・定量的に記載)	

第4章 計画を推進するための方策

・事業評価の実施、指標(KPI)のフォローアップを通じた進捗管理、多様な主体の参画、広域地方計画など他の計画との整合性、他ブロックとの連携等について記載

参考資料(概要と附図)

・概要資料を作成する。特にプロジェクトはそれぞれ1枚作成し、「過去の姿」「現在の姿」「将来の姿または方向性」が比較できるよう、わかりやすい資料作成に心がける
 ・計画に位置づける事業を図面に整理する。その際、計画に示す完成年次等がわかるように工夫する

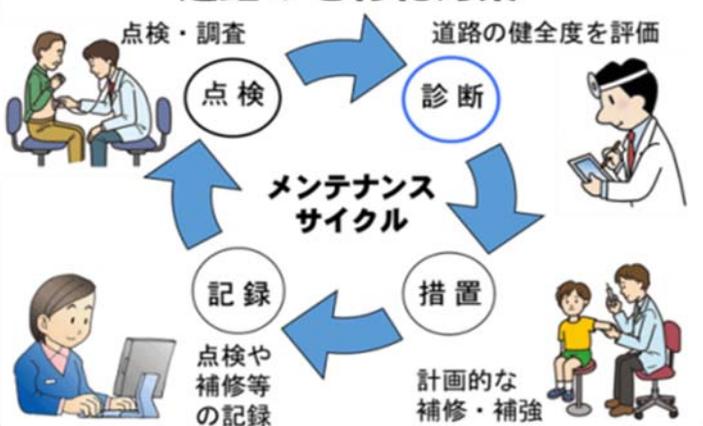
【重点目標】

社会資本の戦略的な維持管理・更新

2-1 戦略的なメンテナンスサイクルの構築 P J

2-2 メンテナンス産業強化 P J

道路の老朽化対策



橋梁点検の様子



中部圏インフラ用ロボットコンソーシアム

メンテナンス会議

無人バックホウによるブロック積

【重点目標】

災害特性と地域の脆弱性に応じた災害リスクの低減

- 3-1 南海トラフ地震に備えた国土強靱化P J
- 3-2 スーパー伊勢湾台風等大規模自然災害対策P J
- 3-3 適切な国土保全強化P J



降雨時の調整放流



砂防ダム



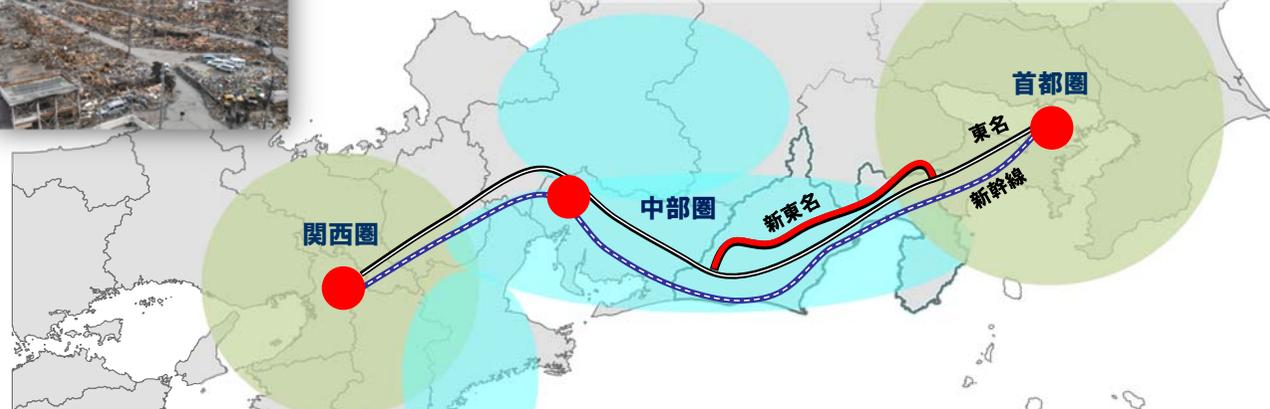
地すべり対策



東日本大震災
人的被害15,900人
経済被害16.9兆円



南海トラフ地震による中部圏の被害
人的被害約175,000人（全国約323,000人）
経済被害約69.3兆円（全国約170兆円）



中部圏では、全国の被害のうち
人的被害約54%、経済被害約41% を占める。



有脚式離岸堤(駿河湾)

【重点目標】

地域の個性を活かし対流を促進する持続可能な社会の形成

4-1 地方創生地域支援 P J

4-2 中部の魅力を高める快適安心生活環境 P J

4-3 環境共生、美しい豊かな国土づくり P J



地域資源を生かした地方創生
(うだつの上がる町並み:美濃市)



道路を賢く使うラウンドアバウト
(飯田市)



駅前結節点の強化(大垣市)



いこいとうるおいの公園整備(桑名市)



かわまちづくり(勢田川)